

職場体験を通じて若者の職業意識啓発を図るための「インターンシップ」。欧米では長い歴史がありますが、我が国では本格的にスタートしてからまだ10数年ほどです。近年裾野の拡がりを見せ、参加学生、学校、受け入れる企業の数が年々増える一方、その普及に伴い、内容や目的の多様化が見られるところです。

近年のフリーター・若年無業者の問題や早期離職率の高まりなどを背景に、早い時期からの職業意識・勤労観の醸成が求められる中、インターンシップをより効果的に実施するためには、学生、学校、企業それぞれにおいてノウハウや意識の共有、事前準備や事後のフォローなどの環境づくりを図る必要があります。

本誌では、それぞれの立場の方からの報告を通してインターンシップの現状と展望について考えてみました。

社団法人雇用問題研究会は、平成19年度、20年度厚生労働省委託「インターンシップ受入企業開拓事業」を受託しており、インターンシップ推進支援事務局を当会内に設置して事業を行っております。

CONTENTS

特集

効果的なインターンシップの推進のために

若者の職業観

連載

巻頭言 現代の若者 3

筑波大学特任教授 キャリア支援室長 渡辺三枝子

厚生労働省 高等教育におけるインターンシップの推進について 5

厚生労働省職業安定局若年者雇用対策室

コーディネーター 東京経営者協会 インターンシップ事業推進室に聞く 8

インターンシップを拡げ、さらに充実させるためのコーディネーター
～学校と企業の橋渡し～

大学 明星大学 就職課 吉田亮太郎氏に聞く 12

「社会」が実感できるインターンシップに万全のサポート体制
～学生が「この大学に来てよかった」と感じられる大学を目指して～

受け入れ企業 スガツネ工業株式会社 人事部係長 志田昭雄氏に聞く 16

オンリーワン製品を創造するスガツネ インターンシップも独自なものを
～学生に社会を実感してもらうために～

正社員を目指すフリーター等の非正規雇用で就労する若者の就職支援について 20

ーヤングワークプラザしゅやー ヤングワークプラザしゅや 統括職業指導官 降幡勇一

キャリア指導の現場から 23

①教育の現場では 東京都立晴海総合高等学校 相談部教諭・キャリアカウンセラー 千葉吉裕

企業研修の現場から 24

①新人研修 組織開発コンサルティング 能力開発インストラクター 平山 豊

スクールカウンセラー風便り 第3回 26

子供とIP ～不登校問題を考える～

東京都スクールカウンセラー（臨床心理士） 金屋光彦

